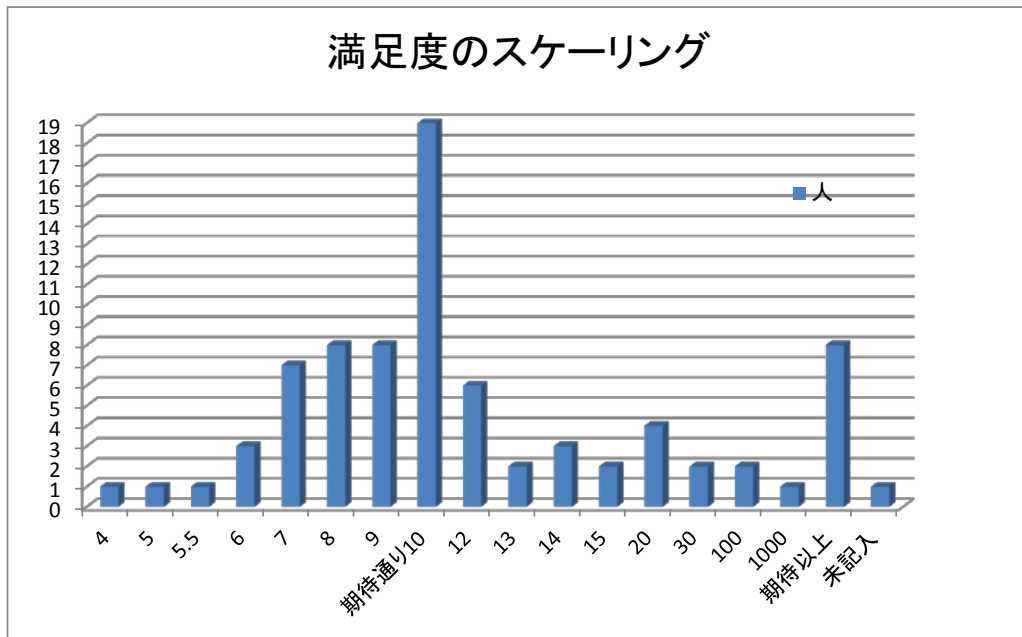


J-SOL5 に関するアンケート

参加者120名中79名 回収率65.8% 2012/07/11

1. J-SOL5全体を通じての満足度をスケールリングすると、いくつくらいですか？
0はまったく何も得ることはなかった、10を期待通りに良かったとして・・・



2.良かったことは何ですか？あてはまるものはいくつでも○をつけてください。

大会テーマ	53(二重丸1)
大会ホームページ	21
HP内What's New	14
Facebook J-SOL5	12
プログラムの構成	29
基調講演	46
分科会	67
オープンスペース	51(二重丸1)
懇親会&キャバレー	40(二重丸1)
ダイアログ共鳴と増幅	33
クロージングセレモニー	17(二重丸1)
Staff&運営チームの対応	42
ブックストア	6
壁フェイスブック	61(二重丸1)
色々な人との出会い	64(二重丸2)
大会前のプレ・セミナー	23(二重丸2)
その他	大会のはしばしで、コツや色々学ぶことがたくさんありました。 通訳の方々が分かりやすく訳してくださったので助かりました♪ 全てよかった プログラムの「NEXT」の案内 プログラム(この冊子)がとても見やすい NEXTとかすばらしい配慮 青木さんのオープニング、進行、雰囲気づくり

<p>ボランティアワークに多くの人に参加して運営に協力して下さったこと。 大会前からMLなどで呼びかけ・交流がなされていたこと。 大会前に外国人が京都観光に参加し、瞑想・書道・茶道など日本文化を体験することによって、「共鳴と増幅」の様々な相を見いだせる下地を作り出したこと。</p>
<p>分科会に多様性がありよかったです。ただ、 外国ゲストに集中する傾向があるように感じられました。 その分、国内発表者の分科会への参加者が少なくなり、残念に思いました。</p>
<p>ボランティア多くの人に参加した。しかも初めての人でも。 大会前からMLなどで呼びかけ・交流がなされていたこと。 大会前のゲスト観光ツアーでも「共鳴と増幅」が意識されたこと。 法人パックへの応募が多く、組織の中の人による組織活性化にSFが活用されることが多くなったことがはっきり表れていたこと。</p>

3.特に印象に残ったこと、良かったことを教えてください。

<p>新しい概念：流転相について知ることができたこと。 自分が日常大切にしている“バランス”“ホスト”という考え方に共鳴しました。</p>
<p>分科会</p>
<p>主催者、講師陣、参加者すべての方が、和やかで、 学ぼう！楽しもうという「気」にあふれていたこと。</p>
<p>場の雰囲気、クロージングセレモニー</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ピーターサンドマンさんの講演 ・運営チームの対応・動き、心地よかったです。
<p>リーダーはヒーローでなくホスト。</p>
<p>「SF」をキーワードにたくさんの方が集まり、2日目には集まった全ての方が仲間なんだと思えました。その一体感がとても良かったです。</p>
<p>ドミニクさん紹介のエジソンのことばが残っています。自分に置き換えて。 あと、おもちゃを使ったリーダーシップの考え方。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・SFリーダーに求められる姿は「ホスト」 「ヒーロー」でも「サーバント」でもない。これは総務のリーダーでも共感できる。
<p>ピーターさんの「場」をつくる話</p>
<p>分科会、オープンスペースのプレゼン方s気 壁フェイスブック！！</p>
<p>6/24オープンスペース 伊藤喜代治さん「一つの帽子で生きる法」</p>
<p>基調講演の“場”の創造、オープンスペース</p>
<p>医療（外来診療）にSFをとりいれている佐藤さんの事例、 当内科でもちよこちよことりいれているが仲間がいてうれしかった。Sfmindを持続継続しつづけたい。</p>
<p>A会場全体での、色々な人とグループでのtalk & share</p>
<p>マーク氏のホスト・リーダーシップの概念に共鳴し、 これまで以上に自分の仕事のスタンスをホストにしてゆく</p>
<p>何をしても何を言ってもOKメッセージをいただけて いい気持ちで2日間を過ごすことができました。ありがとうございました。</p>
<p>運営メンバーの皆さんの細やかな動き</p>
<p>分科会は全ての内容が濃い素晴らしいものでした</p>
<p>分科会、ドミニク</p>
<p>共鳴と増幅が起きたこと、ドミニクさんにランダムアクセスカードの話ができたこと 思っていたのですが、2次回御一緒するまでになっちゃったこと 広島弁を教えることができたこと</p>
<p>テーマが設定されていて「原点」を見直すことができて良かった。</p>
<p>肯定質問のスキル、流転相の考え方</p>

<p>民間でSFがどのように生かされているか学ぶことができた。 多くの出会い</p>
<p>1.距離が近い人程、SFトークが難しい。(オープンスペース) 2.肯定質問は、相手が自分を自分で肯定することを助ける。(マイケルヤート)</p>
<p>参加した分科会、全て</p>
<p>分科会(参加したもの全て)</p>
<p>みんなで協力しあって、場を作りあげている事が印象的でした。</p>
<p>日本の良さ、強み、が世界に通用すること</p>
<p>みんな笑顔だったこと フレンドリーだったこと ソフトな気遣いがあちこちで起きていたこと</p>
<p>・肯定質問 ・ZACROSのレクチャー ・良いうわさばなし ・青木先生の分科会 ・随所にあるワーク</p>
<p>分科会やOSが楽しく学べました！！</p>
<p>青木さんの進行(2年前よりもさらに肩の力が抜けた、素晴らしい)。</p>
<p>元気になれてよかったです。</p>
<p>全体的な運営がとてもスムーズ、愛があると ボランティア参加したことによって強く思いました。 細かな心配りが素晴らしいです</p>
<p>ダイアログで外国から見た日本の良さを知れたこと。</p>
<p>・場について—その場についての意味を考えることができた</p>
<p>ちょっとオーバーでも、OKメッセージを出してほめる。(ほめほめ大王)</p>
<p>書道のタイトル、藤クリニックの分科会の発表</p>
<p>分科会Ⅲ-C「文殊の知恵」 →組織の中で、SFを周囲に強制することなく、活用して大きな成果をあげているところ</p>
<p>オープンスペースが第2stageに</p>
<p>大会全体を通して、ひとつの流れや場づくりがすばらしかったと思いました。 集まる人たちの気持ち良いかんじが素敵でした。 海外の方たちの(プレゼンターのかたの)かんようさ。</p>
<p>・オープンスペース。自分でテーマを設定して、人が集まるのか不安だったが10人も集まって本当に嬉しかったです。 ・ザクロスも完璧じゃない、と一言がすごく印象的でした！</p>
<p>人との会話(出会い)。(基調講演や分科会、ディスカッションなど)</p>
<p>・みなさんが笑顔で楽しんでいてくれたこと。 ・サイモン・リーさんの「強み」の話。</p>
<p>自由なオープンスペース 大変よかった。</p>
<p>・最後のパネルディスカッション ・最後の3人組のワーク ・初日朝のオリエンテーションシートを用いたワーク ・リサロッテさんの分科会</p>
<p>今回初参加でしたが会場全体にOKメッセージが充満していてとても守られている感覚がありました。 SFはスキルそのものよりマインドが大切なのだと確信しました。 OKメッセージのマインドが私自身にエネルギーを与えてくれたことを体感したことが何よりの収穫でした。</p>
<p>・場のづくり方がすばらしい</p>
<p>最初の『基調講演～場の創造』の重要性を常に意識した2日間だったこと。</p>
<p>肯定質問の分科会</p>
<p>龍谷大学で開催した「回復力WS」が特に印象に残りました。 開催場所、学生とともに学べた事、ワークショップの内容</p>
<p>皆さんの表情が生き生きしていたこと。特に外国人は日本人以上にやさしい笑顔でした。 また、運営スタッフは大変お疲れでしょう。本当に御苦労さまでした。 いろんな点でZACROSに光を当てていただき、初参加のメンバーも喜んでいと思います。</p>
<p>・マイケル・ヤート氏による「意図の力」意図することで感覚が変わる。その感覚がリソースを引き出す」という言葉。 ・いろいろな領域で活躍するソリューションリストたちとの出会い</p>

<p>オープンスペースで皆さんが親身になって、一緒に考えて下さったこと。 そこで共鳴と増幅が起きているのを体感できたこと。 完璧ではありませんでしたが、翻訳のお手伝いができたこと。</p>
<p>肯定質問</p>
<p>プレゼンターによる、自分の分科会のPRタイム。わくわくしました。が、一方で全部に行ってみたくて、迷いました。魅力的な分科会ばかりで困りました。</p>
<p>自分がアクティブになれたこと。 たくさんの素敵な人たちと出会えたこと。 ずいぶん久しぶりに英語を使ったこと。</p>
<p>オープンスペース。各々でテーマを選び、各々の立場から意見を活発に交わして、正解を作り上げていく過程は胸がいっぱいになりました。</p>
<p>当日のみだったがボランティアに参加し、J-SOLの場づくりの手伝いできたこと。 海外のソリューションニストの方々のお話を聞いたこと。</p>
<p>・ピーター・サンドマンさんのあり方。(話して下さった中身はもちろん、それを話すピーターさんのあり方がなんだか印象に残っています。 ・これまでよりもより新たな人と出会うことが出来たのがよかったです。 これは、5回目の参加で自分が場になれた事もあるのかもしれませんが、それ以上にスタッフの方々の事前準備や細かな配慮のおかげだと思います。</p>
<p>個人的なことですが、翻訳ボランティアチームに参加したこと。 翻訳することで、その人の「SFへの想い」への理解が深まった感じです。</p>
<p>藤先生の分科会に参加させて頂き、組織風土を変革していくにあたり、SFをどう取り入れ、どう関わってきたのか、そのプロセスが大変参考になりました。</p>
<p>ピーターサンドマンさんの姿勢 (one down position な感じ) 場づくりの視点</p>
<p>初めて参加する方が多く、盛会であったこと。 産業のみならず、行政や、他分野など様々なフィールドの方々が増えたこと。</p>
<p>西田さんをはじめ、通訳の皆さんの素晴らしい理解力・伝達力！</p>
<p>基調講演での「場」を整えること、からたくさんのヒント、アイデアをもらったこと</p>
<p>・みなさまのホスピタリティ・異業種の方との交流で違う考え方に触れたこと ・分科会で発表される皆様の嬉しそうな、楽しそうな表情 ・地道に着実な一歩を踏まれている事例</p>
<p>今回の大会は130名の参加で、新しく参加された方も多く大変素晴らしい大会でした。 海外の方の参加と充実した分科会。まさに、「共鳴と増幅」そのものの大会になったことです。 ピーターサンドマンさんの「場」の通り、正に「SFの場」が生まれていました。私がナビゲーターとして勤めさせていただいた藤クリニックさんの分科会や藤沢さんがコーディネートした「SF3人文殊の知恵」は実際に活用されている事例であり、とても参考になる内容でした。</p>
<p>分科会での事例発表で上手いことばかりでなく色々な事例を発表されていた所</p>
<p>テーマ「共鳴と増幅」がキーワードとなって、あらゆる場面で人々が口にした。</p>
<p>初参加の方も大会に溶け込んでいたこと 特別セミナーから大会まで一貫したメッセージがあったこと</p>
<p>参加者皆が「あれが良かった、これが良かった」と「良かった」を口にしていた事</p>
<p>初参加の方が多かった事 沢山の方がボランティアに参加されていた事</p>
<p>J-SOLも5年目になり、肩に力が入らずによい意味で自然体で関わっている方が増えたように思います。 また、「共鳴と増幅」というテーマはひとりひとりがその人のステージで深く考えることができ、また感じることもできる</p>
<p>テーマ「共鳴と増幅」がキーワードとなって、あらゆる場面で人々が口にした。</p>

4.具体的に役に立つと思ったことは何ですか？

肯定質問はとても役に立つ、早速次の研修にとり入れようと思います。
自分を振り返ると、学生との面接で肯定質問を使っていることにも気づけてよかった。

肯定質問

・セミナーのやり方 ・スモールステップ ・立ち止まる

分科会でのSFリーダーシップ、ワークショップデザイン

・場と肯定質問

流転相、肯定質問

強みを活かすコーチング、
自分にも、周囲にも・・・。

・企業によって、また組織によって、効果のある方法は異なる。
大切なことは、色々と取り組む(スモールステップ)ができる行動力、熱意

6/24分科会での
質問でほめる

・仕事をする時の姿勢、スタンスに活かせる
・異業種の方との交流でいただいたアイデアを明日から使いたい

適切な距離感

思いを伝えるための明日から使えるスキル。解決志向の様々な可能性

肯定質問のバリエーションが↑

肯定質問

・ヒーローとサーバントのあいだを往き来すること。
・ドミニク氏のランダムな質問の順によって答が変わること。

肯定質問、場づくり

外国人のゲストに皆さんから具体的な手法、実際試します

ジェニーさんのワークは、これまでのワークショップの見直しに大変役立つと思います

オープンスペースで発表者へのオッケーメッセージ。
自分にもオッケーメッセージをもらった気になった

マイケルさんの肯定質問は、即実践したいです。

肯定質問のスキル、流転相の考え方

場をつくること。プレゼンターの人たちの話。

肯定質問の効果、OKメッセージを含むが、相手が自分の力で根をはる力を増幅させる効果を持たせるとのこと。

分科会の内容

レジリエンス、ホストリーダーシップ

心理検査の結果をまとめる際に、通常は出来ない所、ネガティブな所を報告するのが当然になっていますが、
その中でも何か1つでもSF的な要素を入れていきたいと思いました。

肯定的質問

・場づくり→ネガティブな話もOKメッセージしようと思えば、うまくいくこと

・肯定質問 ・ZACROSのレクチャー ・良いうわさばなし
・青木先生の分科会 ・随所にあるワーク

いつも日常化、一般化につながっているので最高です。

「小さな変化」を大切にする、ということ、そういう質問を心がけること

アクティビティの作り方がわかったこと

分科会で学んだことは役に立ちます。
BRIEF、レジリアント、7つの知性など

肯定質問

<ul style="list-style-type: none"> ・肯定的質問—ほめられた事がないので、ほめ言葉を知らない人が多い。 ・管理者のほめ言葉—肯定的質問(隠れたOKメッセージ)を広げていきたい。
<p>家庭、職場でのコミュニケーション 自分の周りでの協力者、なかまをさがして、共有する事でコミュニケーションを取っていきたい。</p>
<p>SF的思考「人の良い所を伸ばす」</p>
<p>自分は意識してスイッチを入れないとSFモードに切り替えられないことに、少々劣等意識を持っていたのですが、多くの人との交流を通じ、楽になって、もっと自然と使えばいいんだと思いました。</p>
<p>「意図の力で不平、不満が聞ける」胸にグサツきました。</p>
<p>サイモンの強み、マークの変化への対応、ピーターのトイレトペーパーの事例、リサロットのレジリエンス、ジェニーのワークなどフレームワークとスキル、ワークショップの作り方</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・肯定質問 「これからどんなことができそうですか？」 質問+OKメッセージの効果が有るので、日常生活で取り入れてゆきます。
<p>分科会Ⅲ「J-SOL LAB West」でのワークショップ</p>
<p>問題のとらえ方、解決方法</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・リサロットさんの研修 ・オープンスペースでの指標に関するシェア ・マイケルヤートさんの肯定質問のワーク ・SFとギリシャ哲学との関係(マイケル談)
<p>病院、福祉施設のチームビルディングにSFを取り入れたいと思っています。 分科会での、組織・チーム内でのSf insideな試みが具体的で参考になりました。</p>
<p>サイモン・リーさんのBRIEFと、サイモンさんと目標について話したこと</p>
<p>今日時点で役立っていると実感していること 【自分の中に変化があること】 ◆仕事とプライベートにおいて ・話を聴き、受け入れる心の余裕が生まれている ・メールの文章からも深く相手の状況を理解、イメージする姿勢が日々強化されている ・繰り返し意識して活かすことで、相手の素晴らしいところたくさんある中で更にその中から最も素晴らしいことを選択できる”Point選択眼”が強化されているような感覚 ◆営業とのやり取りにおいて ・より話を掘り下げて、共に課題を明確にし、共に課題を解決する方法をお互いに考える場創りができた ・穏やかに話が進む ・相手が受け入れやすい ・相手も受け入れてくれるから、更に話が深まる ・相手も課題とやる事が明確になっているので自ら行動している これからの課題は コレを組織全体で出来るような仕組みを考えることです。</p>
<p>肯定質問の分科会</p>
<p>回復力、流転相、感情と行動の関係、リーダーシップのアイデア</p>
<p>どちらかという職場の中で強引に？SF朝礼をやっているの、反発する人もいます。 島田さん、清水さん、村上さんのように自然体であれば相手も自然体で理解できると思いました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・肯定質問
<p>ホストリーダーシップという考え方 流転相の哲学</p>
<p>SFをベースにいろんなことを考える。 日々の訓練が必要。</p>
<p>マイケル・ヤートさんの分科会で学んだ「肯定質問」は、知らないうちに本人が自分を肯定できる質問」という考え方は、SFを身につけていく際、自分の基礎となる考え方だと思いました。</p>
<p>B.R.I.E.F Coachingのシート。経験の浅いソリューションリストには、いいツールです。 肯定質問も、そのまま意識するだけで使えます。</p>
<p>明確な1つの答えを導く訳でない場合は、人の言動・事象に全てに意義があることが大前提にあると知りました。そして、それらの良さに気づき、活かしていくことが、より深い答え及びより良いチームワーク作りへの近道なのではないかと思いました。また、自分の中の願いに気づき、それを無視せず誠実に答えてあげたいと思いました。これは、自分の目標に誠実に向き合い、活き活きとした顔で頑張っておられる皆さんを見てそう感じました。</p>

・自身のSF活動をふりかえる時のフレームとして、「文殊の知恵」分科会での発表内容
・サイモンさんのBRIEFコーチング ・ドミニクさんのおもちゃを使ったワーク(おもちゃの利用の仕方) ・流転相の考え方・説明の仕方
WSのグループでの話しあいで、サイモン・リーさんと話したことがとても実用的で使えると思いました。
・愛での行動を認めまくること ・藤先生の分科会での学び
「SFをどのように教えるか？」7つの知性からのワーク
継続的に取り組んでいращやる企業や先生方の活動報告は説得力を感じます。また、木内先生の「職場における思考とコミュニケーションのスタイル調査」にも今後の完成が楽しみでした。
マイケル・ヤートさんの分科会「肯定質問」の実習。研修でも、この実習を参考にして、すぐ活用できました。
・やはりOKメッセージ
今回実際に自分にとって役に立つものはマークさんの「ホストリーダーシップ」という考え方で、マネジメント研修に活用できそうです。
実際にそれぞれの企業で使われている事例発表 肯定質問すること自体が肯定していることになる。
担当した分科会での、プレゼンターや参加者皆さんの発言や気付き 特別セミナーでのピーター・サンドマン氏の言動全て
プレ・セミナーのマイケル・ヤート(不満を言う相手に肯定的に接するとか)
・テーマ ・事前プレセミナー ・様々なツールでの告知
「OKメッセージを最後に伝える」という意図をもって話を聞くことが、既に相手に影響を与えているというのが、納得できて、今まで以上にやりやすくなった。

5. 次回のJ-SOLでは「なくても良い」「もっとして欲しい」「新たに加えて欲しい」と思うことやその他ご要望等ございましたら、何でもご自由にお書きください。

ダイアログ(全体) 円になる(2~3種)
ボランティアスタッフをやらせていただき、関わられたことをとてもうれしく思います。名簿があれば(壁フェイスブック以外)うれしいかな。
もっと時間に余裕があればうれしい
・全大会の時間は、もう少し短くてもよいと思います。 人と話をする時間、事例について話をする時間が多くあるといいです。
SFの基礎を1HR位入れてもらいたい。
「席を替わって・・・」というのを何度もやってもらえともっと色々な人と知り合える
オープンスペースの時間を増やしてほしい。他の分科会の資料が欲しい。
オープンスペースの時間をもっと長くしてほしい。(1.5hぐらい)
分科会が少し多いのでは？
分科会。他にも出たいものが沢山あって、絞り込まないといけないのがとても残念
日本文化についてのパネルディスカッションは、おもしろいと思う部分もありましたが、少し、学術的な感じもして、もっと、日常的な文化のちがいがら、話を起こすと、楽しくなるのではないのでしょうか。
オープンスペースの話材を考える時間をもっと取っては？ 多分話したいことがもっと多い(もっと言いたい人も多いのでは？)
分科会の中にもっと時間をとったスキルアップのセミナーがあると良いと思いました。
またいつか京都で開催して下さい。今回はお手伝いできませんでしたが、次回は何か出来そうです。

<p>もう少し参加者間の交流がほしかった。 懇親会も1wayだった。SFを理解していない人は理解するのがつらそうだった</p>
<p>今回のように、幅広いジャンルのソリューションистのプレゼンを受けられる分科会をまた企画して下さい！</p>
<p>2日間で1プログラムというのはわかるのですが、友人たちで2日間は出られずあきらめた人が多かったので、そのあたり・・・</p>
<p>オープンスペースがとっても良かったので、少し時間を短くしても2→3つぐらいになればもっとよくなると思います。</p>
<p>全体ワークがもっと多いと嬉しいです。</p>
<p>・今回もよかったです、今後も、海外ゲストが楽しめるような会にして欲しい。 ・オープンスペースは1回でよく絞って出されたものにするか、数を増やして、気楽にできるようにするか、共通の関心がある人どうして話し合うワークの後にしてその流れで企画できるようにするなど、工夫が必要だと感じた。2回目はどこにも行っていない人がいたように感じた。</p>
<p>招待講演は分科会でなく単独としてほしい/キャバレーは全員参加で体を動かすイベントをひとつほしい</p>
<p>壁フェイスブックは五十音順に貼ると探しやすい。 この分科会はこの人にお勧めというのが素人ではわかりづらかった。わかればもっと満足できる。 出たい分科会が重なった場合は苦渋の選択。</p>
<p>・参加したい分科会がいっぱいあり、一つに絞るのが難しすぎる。参加できなかった分科会の配布資料を手に入れられると1点アップ。</p>
<p>いろいろな人とお話しできるセッションが欲しい。例えば、リフレクティングチームをもっとしたい。</p>
<p>オープンスペースは楽しかったのですが、時間が少しみじかく感じたり、渡り歩きたいのに遠慮が先にたつてうごきにくかったです。</p>
<p>聴きたい分科会が重なって困ったくらいです。</p>
<p>分科会が、どれも魅力的過ぎて選ぶのに苦労しました・・・ なので、自分の行けなかった分科会のレジュメを配って頂けることは大変ありがたかったです。 もっとしてほしいことは、オープンスペースの時間があと半時間長くて下さるとありがたいと思いました。 「壁フェイスブック」は継続希望。</p>
<p>海外ソリューションистの方の話は、本大会ではどうしてももう少し時間が欲しいと感じることが多いので、プレセミナーやポストセミナー(出来れば1日)を可能な限り今後も実施していただけたら嬉しいです。</p>
<p>分科会の選択に困りました。(参加したいものばかりでした) 早くDVDを購入して、参加できなかった分科会から学びを得たいです。</p>
<p>外国人のパートをもう少し少な目でもいいのでは？(通訳が入ると倍の時間がかかる)</p>
<p>初めて参加の方には、少し時間の面がタイトではなかったか、と思いました。 オープンスペースを選択する時間、移動時間は幾分、長めにと思いました。</p>
<p>今回はあっても参加できませんでしたが、前夜祭(J-SOL4で実施したような、座敷での宴会)。</p>
<p>・オープンスペースのテーマの事前申込み(参加するための準備として)・・・当日の即断発想の良さもありますね。 ・J-SOL1の布山さんのような、全体での事例発表</p>
<p>加えたいのは「参加型全大会」理由:分科会やオープンスペースは全て参加できないので、参加者の共通のものとなりません。何か全員が共通にもって帰ることができる。全体ワークショップがあると良いと思いました。</p>
<p>分科会の時間がもう少し長ければいいと思います。</p>
<p>プログラム構成はシンプルに。とにかく参加者同士が交流する場と時間を中心に組む。</p>
<p>休憩を長く取れるプログラムにする 外人ゲストの分科会は一つに纏める(主は日本人なので) 前夜祭は必要ないように思います</p>
<p>オープンスペース、参加者同士で話す時間をもっと取ってもらいたい</p>
<p>オープンスペースの時間を増やしてほしい。 参加者同士、話をしたり壁フェイスブックに記入したり、聞いたことを消化する時間がほしいので、休憩や自由な時間を増やしてほしい。</p>
<p>・事前に参加したい分科会を決めていただきますが、当日に変更なさる方がとても多かったですように思います。 そのため、準備が追いつかずバタバタしてしまったこともありました。 改善できるアイデアがあるとよいと思います。</p>
<p>プログラム構成はシンプルに。とにかく参加者同士が交流するオープンスペースの時間を増やす。 J-SOL以外の普段のSFプログラムを増やすことで、J-SOL大会に何でもつめこもうとする傾向を緩和する。</p>

6.主催者、発表者へのメッセージがございましたら、お書きください。

ありがとうございました。

お疲れさまです！ありがとうございます。大会前のmailから親切で期待感も高まっておりました。海外の方のセミナー等、聞ける機会は無いのでこのような場を設けて頂いて、ありがとうございます！

申込時から学びへ場づくりを本当にありがとうございました。

大変お疲れ様でした。おかげで、楽しく学べました。感謝！！

ありがとうございました。

走り回って準備～運営までして下さったスタッフの皆様、ありがとうございました。

毎度のことながら、事前準備から本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

・分科会の発表機会を頂き、多くの質問やフィードバックを頂くことができました。感謝しております。

楽しく参加できてよかったです。ありがとうございました。

自分らしく参加すればいいと、心から感じることができましたありがとうございました

貴重な体験になりました。

今回も、沢山笑い、学ばせていただきました。本当にありがとうございます。おつかれ様です。

本当にお疲れ様でした。それ以上に、ありがとうございました。

お疲れ様でした。細やかな心配りが感じられました。

ありがとうございます

いつもありがとうございます。おかげさまで楽しく学べました

みなさん、お疲れさまでした。

たくさんの方々へのおもてなし、ありがとうございます。素晴らしい人とで自を作ってください感謝しています。

企画から実行まで御苦労様でした

ありがとうございました。

2日間たいへんお世話になりました。

この大会の為にさまざまな準備をして頂きありがとうございました。

本当にお疲れさまでした。

年に一度の心のエネルギー補給と見直しの機会になりつつあります。貴重な機会をありがとうございました。

良い経験をさせて頂いて本当にありがとうございました。
通訳の勉強ももっとやっと思いいます。貴重な機会を与えて下さりありがとうございます。

心から感謝しています ありがとうございます

みなさんのおかげでたくさん学べました。ありがとうございました。

私達が楽しく学べるように、ホスピタリティに満ちたご配慮ありがとうございました

マークのOS会場にて「ホストリーダーシップ」の日本語版論文をメールで添付するので読んで下さい。
とお願いしました。

青木さん、いつまでも元気を分けて下さい！！

大変お世話になりました。みなさんは素晴らしい

このような大会を主催していただきありがとうございます。
とても有意義な場です。様々な分野の方がおられて嬉しい楽しい場でした。

お世話になりました

良い体験をさせていただきました。ありがとうございます！

懇親会の料理をおいしく。

基調講演・ダイアログ・分科会の一部は当たり前のものであった。来年を期待してあえて辛口で書きました。

ぬくもりのある大会、リアルな発表をありがとうございました。

とても、素晴らしい大会でした。ありがとうございました。人間が、日本人がまた好きになりました。

ありがとう

藤沢様には大変ご迷惑をおかけしました。ありがとうございました。スタッフの方の尽力がすばらしかったです。

J-SOL2以来、3年ぶりでしたが やっぱり J-SOLは最高でした。
社会人4年目の今の方が、活かせる場面が増えてワクワクしております。

みなさん、熱意が有り、本気だったので大成功だったんだと思いました。参加させていただき、ありがとうございます。

<p>ごくろう様でした。「場」を提供してありがとうございました</p>
<p>・本当にお疲れ様でした。事前提出物など工夫されていてよかった分、じゅんびが大変だったと思います。ありがとうございました。</p>
<p>SF的に生活する、実践する、生きるということが、こんなに人々を明るく輝かせるのか、ということを実体として見せて頂いた気がしています。SFが目指すのは許し合いサポートし合う社会なのですね！私も増幅していきます。</p>
<p>・きめ細かいおもてなしをいただきました。本当にありがとうございます。</p>
<p>あれだけの内容と、人数なので準備から当日の運営、フォロー等本当に大変だと思います。"おかげさま"で私は本当に楽しく学ぶことができたと思っています。ありがとうございました。</p>
<p>ありがとうございました</p>
<p>ありがとうございました。思いっきり楽しめました。青木さんも楽しんでるように感じたのが嬉しかったです。そしてそれを陰からサポートするるい子さんの姿が素敵でした。お互いがお互いを支え合い楽しんでいる姿が本当に素敵でした。そしてそんなふたりをきちんとフォローするSFCのみなさんいいな。ありがとうございました。</p>
<p>青木さんやせましたか？</p>
<p>キャバレーでは、初めての参加者をもっと巻き込むと良いと思った。(感想などを尋ねる際やインタビューする時、リピーターや運営チームに偏っていたように思う)</p>
<p>本当に本当にありがとうございました。たくさんの気づきや収穫がありました。</p>
<p>二日間ありがとうございました。お世話になった方々すべての方に感謝です。今回、初めての参加でしたがとてもスムーズに入っていました。やはり、SF要素満載のガイドブックが良かったと思います。特に、顔写真入りの会場説明とNEXTの欄がポイントだと思いました。</p>
<p>主催者のみなさんの細やかなご配慮や発表者の方々の情熱でとてもすばらしい大会だったと思います。地方公務員の私には超異業種のように超身近にも感じました。</p>
<p>おつかれさまでした。とても楽しい時間をすごすことができ、ありがとうございました。</p>
<p>J-SOL5は私にとって、本当に大きな意味をもつイベントとなりました。参加してよかったです。親切にお話して下さった皆さん、そしてJ-SOL5を紹介して下さいました方に心から感謝いたします。</p>
<p>J-SOL では外国の方と接することができるのが大きな魅力ですが、その為の事前準備、来日後の対応の大変さをかいま見て、改めて青木先生ご夫妻他関係される方々に感謝いたします。ありがとうございました。</p>
<p>知識共有、そして素朴な仲間と出会える「場」を創ってくださりありがとうございます。</p>
<p>2日間、本当にお疲れ様でした。この場を作るための準備にかかった苦労が十分伝わってきました。</p>
<p>貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました！</p>
<p>参加された皆さんのメールのやりとりをみて、その反響の大きさに驚いています。次回、またお互いに有益な会合となることを、祈ってやみません。</p>
<p>今回も、ソリューションフォーカスコンサルティングの皆さんと運営チームメンバーの素晴らしいチームワークと運営力に、感謝感謝です！</p>
<p>本当に楽しい会で、ありがとうございました。</p>
<p>事前の準備、当日の運営など、なみなみならぬご尽力をありがとうございます。J-SOLにいるとハッピーな気分になれます。</p>
<p>皆さまご苦勞様でした。内容の充実した素晴らしい大会になりました。皆さまの頑張りに感謝申し上げます。</p>
<p>準備・当時業のフォロー等お忙しい所対応いただきありがとうございました。</p>
<p>皆さん、発表をありがとうございました。人が人から学ぶというのが一番原始的で基本的で美しいなあと思いました。</p>
<p>分科会発表者の皆様、発表の為の準備を有難うございました 当日ボランティアの皆様、ご協力有難うございました</p>
<p>皆様大変ご苦勞様でした</p>

- ・運営チームの皆様
ありがとうございました。柔軟な対応が毎回ながら素晴らしい。
- ・ボランティアの皆様
若い機動力、ベテランの経験則や賢さなどが発揮され、かつ皆様の「あ・うん」のチームワークがまさに「共鳴と増幅」でした。
- ・分科会の皆様
多様性のある発表をありがとうございます。
理論だけでなく、「経験」が多く語られた分科会が多く
まさに、J-SOLの趣旨に合致した発表でした。
ありがとうございます。

プラスの意味で想定外の自発性がJ-SOL参加者の中に増えたようでうれしい。

7.あてはまるもの全てに○をつけてください。

次も参加したい	68(二重丸2、三角2)
次に参加する時は自分の事例を発表したい	10(点線丸1、三角1)
運営する側にまわってみたい	9(点線丸1、三角2)
J-SOL大会以外のSF学習機会にも参加したい	29(二重丸1)
7.に関するご意見	子供が6才なので関西で日帰りできる場所でないと行けないのがすごく残念です
	スタッフの皆様のホスピタリティあふれた御対応に心より感謝申し上げます。
	次回も参加したい!!!絶対に!!!
	新しいメンバーが参加できることを期待します コーチではなく実践者向けのセミナーがあるといいですね。 (もちろんあるでしょうけど)
	運営する側にまわってみたい—気持ちはいっぱいなんです、家の都合で無理かもです。 気持ちだけ伝えときます。
	関西の皆さんが取り組んでいらっしゃるLAB FESTAなどの案内をお願いしたいところです。 来年は現場でいろいろ見てまわったり、いろいろな人と話せる余裕をつくりたい。